

平成 25 年 8 月 27 日～9 月 2 日までの全国の暑さ指数 (WBGT) の
観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について
(お知らせ) (平成 25 年度第 11 報)

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5 月 13 日(月)から情報提供を開始したところです。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約 150 地点について、過去 1 週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症患者搬送数との関係について、定期的に情報提供を行うことといたしました。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 先週(8月27日～9月2日)の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数 31℃以上(危険)の時間数(168 時間中)

1. 久米島(沖縄県)	30 時間
2. 南大東島(沖縄県)	24 時間
3. 千葉(千葉県)	12 時間
4. 横浜(神奈川県)、牛深(熊本県) 石垣島(沖縄県)	10 時間
5. 館野(茨城県)、名瀬(鹿児島県)	9 時間
6. 伊良湖(愛知県)、静岡(静岡県) 阿久根(鹿児島県)	8 時間

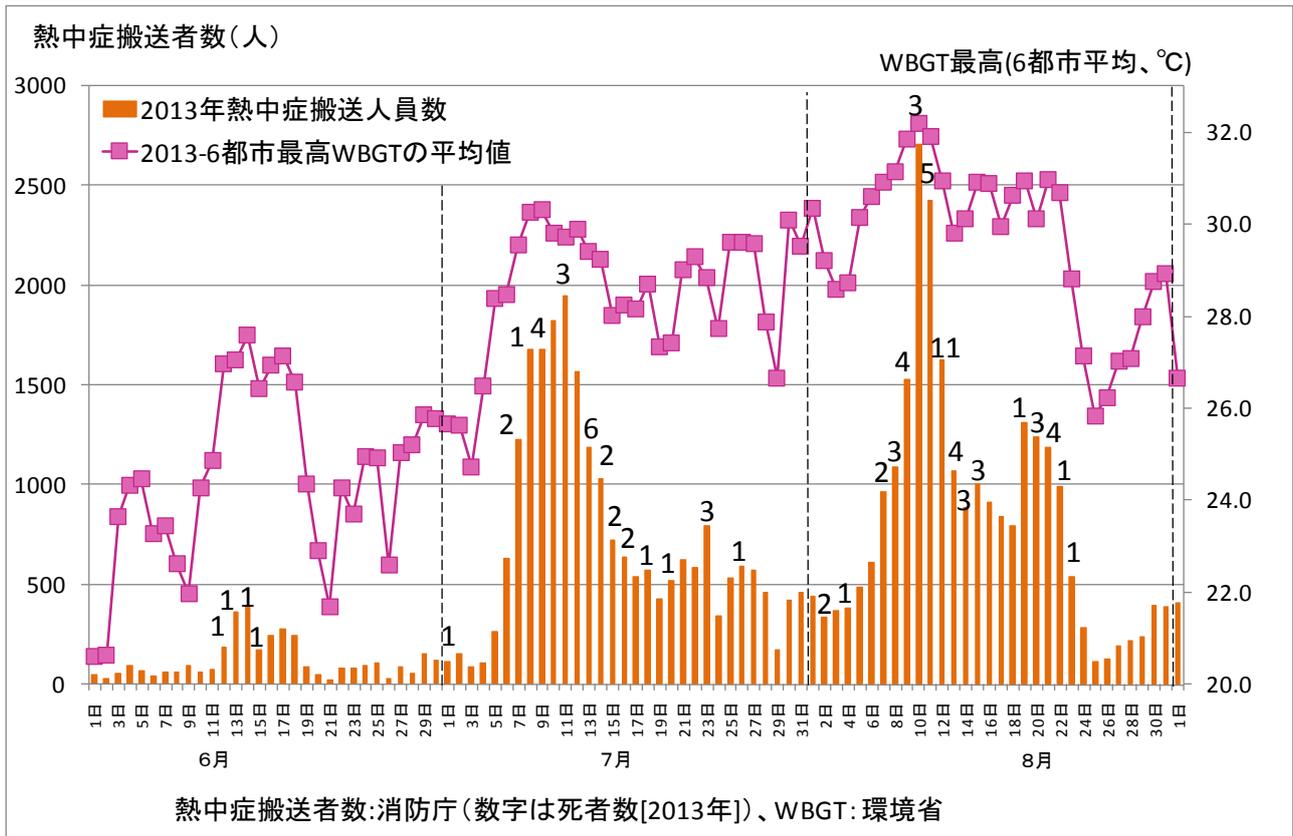
<参考>全国 6 都市の観測地点

新潟(新潟県)	0 時間
東京(東京都)	4 時間
名古屋(愛知県)	2 時間
大阪(大阪府)	0 時間
広島(広島県)	0 時間
福岡(福岡県)	1 時間

- (注 1) 暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。
(注 2) 暑さ指数 31℃以上の時間数は、今回の調査では、久米島の 30 時間が最多で、153 地点のうち 48 地点で暑さ指数 31℃以上の時間がありました。なお、暑さ指数 31℃以上とは、(公財)日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



○ 6都市平均の最高 WBGT は、8月27日～9月2日までの期間、東日本では期間後半、西日本では期間前半、南西諸島では期間をとおして、熱中症危険度の「嚴重注意」を示す28～31°Cで推移しました。熱中症による救急搬送者数は消防庁発表の速報によると、8月26日～9月1日までの期間126～412名（最多は1日の412名）で、熱中症による搬送者数が多い状態が続きました。

○ 8月27日～9月2日までの期間、日中の WBGT 最高値は、東日本では30日から1日まで、西日本では28日から31日まで、南西諸島では期間をとおして、熱中症危険度の「嚴重注意」を示す WBGT28～31°Cで、WBGT28°Cを超えた地点は36～89地点（全153地点）でした。

○ 気象庁発表（9月5日11時時点）の週間天気予報では、最高気温・最低気温ともに、期間の中ごろまで、平年より低い所がありますが、全般には、平年並か平年より高い見込みです。気温が急に上がるとき、暑さになれない状態での屋外活動などは、熱中症の危険性が高くなります、こまめな水分補給などを行い、体調管理に十分注意してください。

(注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。

6都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡